

3年ぶりの市民体育祭

市長 明智 忠直



10月8日、3年ぶりに旭市民体育祭が開催されました。過去2年は雨のため中止になりましたが、特に昨年は開会までは雨が降っていませんでしたため、中止の決断が遅れ、市民の皆さんに大変な迷惑をお掛けしました。

8年前の市長就任時、合併した市民全体での集いを何かやりたいとの思いで、この体育祭を実施することに致しました。もちろん大会を開催するには市民の皆さんの支持、協力を得なければなりません。当初は市民体育祭実行委員会、運営や選手選考、準備など十分できるものと考えておりましたが、実際には区長の皆さんにまとも役になつてもらうことが、大会を実施するには必要不可欠であり、大変なご尽力をお掛けしているところであります。

より良い大会運営のため、昨年

度の反省から今年は競技内容を協議し、種目に大きな改善を加えた。私自身改善されて良かったと思う点は、まず開始時間を30分早めて大会の運営に余裕ができたこと、プログラムを少し小さくさせ応援と競技が一体感を持てたこと、フィールド、トラックの競技に時間差を設け、非常に応援しやすかったこと、そして出場枠を見直し、選手選考がしやすくなったことなどであります。

会場の東総運動場は県の施設ですが、干潟地区の貴重な財産として存在するわけで、市民にぜひ一度は訪れてほしいという願いもあり、市民で共有できる場としても、市民体育祭は大きな意義があると思うものであります。体育祭を通じて地区の団結、交流、絆を改めて構築できたのだなと思ったところでありました。



市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／3日(金・祝)、16日(木)、23日(木・祝)、毎週月曜日

岡市図書館 ☎62-2560) <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「淳子のてっぺん」



唯川 恵 著
(幻冬舎)

ただ山が好きだった平凡な女性は、エベレストの頂上から何を見たのか。登山家・田部井淳子さんをモデルに描かれた小説です。

「失恋バスは謎だらけ」



森沢 明夫 著
(双葉社)

「失恋バスツアー」の参加者は、全員隠し事がある様子。自身も失恋した添乗員の龍太郎は、無事四日間を乗り切れるのか。

新着図書

- 日本百低山(日本山岳ガイド協会)
- はじまりは愛着から(佐々木正美)
- 魚だって考える(吉田将之)
- 大学病院の奈落(高梨ゆき子)
- 簡単! お寺ご飯(飯沼康祐)
- 東京名木探訪(近田文弘)
- ヘンな浮世絵(日野原健司)
- 末ながく、お幸せに(あさのあつこ)
- バック・ステージ(芦沢央)
- ディレクターズ・カット(歌野晶午)
- 鳳凰の船(浮穴みみ)
- 本日も教官なり(小野寺史宜)
- 銀河鉄道の父(門井慶喜)
- オーバーロードの街(神林長平)
- 院長選挙(久坂部羊)
- 青空に飛ぶ(鴻上尚史)
- 望むのは(古谷田奈月)
- 移植医たち(谷村志穂)
- 機龍警察狼眼殺手(月村了衛)
- むーさんの自転車(ねじめ正一)
- 地獄の犬たち(深町秋生)
- オリンピックがやってきた(堀川アサコ)
- この世の春上・下(宮部みゆき)
- さらさら流る(柚木麻子)
- G I プリン(渡辺淳子)
- やばい老人になろう(さだまさし)

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／11月9日(木)

午後4時30分～5時

場所／市民会館